

食物負荷試験のお知らせ

食物アレルギーの診断は問診、検査（血液検査や皮膚テスト）で疑いをつけ、最終的にはその食品を摂取して症状が出現するかを見る負荷試験で確定します。（年齢や血液検査の抗体価の数値によっては負荷テストを省略して診断つけることもあります）

血液検査が陽性なだけで除去をしている場合も時々見かけますが、必要ない除去をしている可能性もあります

また負荷試験は診断だけでなく、その食品に耐性が出来たかどうか（食べれるようになったかどうか）確認するためにも行います

食物アレルギーの治療で大事なものは必要最低限の除去をし、食べれる量までは食べても良いということです。完全除去しなければならないのか、ここまでは食べてもいいのかを決めていきます。ただそれは自宅で勝手に行うことはとても危険ですので専門医の監視下で負荷試験を行い決めていきます。

当院でも週2回負荷試験を行いますのでご希望の方はご相談下さい。